

## 15 時刻を伝えよう

指導者（ ）

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
前時の復習 ・体の部分の名前、体調の伝え方を復習する。	5分	○前時に使用したイラストや絵カードなど
<input type="checkbox"/> ①「同じ」「違う」を言う ・トランプの2枚のクイーンを見せ、「同じ」と言い、クイーンとキングを見せる時に「違う」と言って、意味を理解できるようにする。 ・神経衰弱ゲームをする。最初は4～5組を裏返しにし、Tが2枚表にする。同じ時は「同じ」とうれしそうに言って自分で取る。違ったら「違う」と残念そうに言ってカードを返す。 ・Sにもやるように促す。 ・カードをめくる時には、「同じ」「違う」を言うルールとする。 ・カードの枚数はSの力に応じて調整し、何度か神経衰弱ゲームをする。	17分	○トランプ ・数字のカードは数字で「同じ」「違う」と表すこととする。赤と黒が混じると、混乱する場合があるので、ゲームのときはどちらかだけにする。発達段階により、数字では同じと感じない場合は、形だけに注目できるようなカードを用意するとよい。 ○『日本語学級1』 P52、53
<input type="checkbox"/> ②「〇時」「〇時半」を言う ・数字の読み方を復習する。 ・時計を示し、「あれは何ですか」と質問し、「とけい」の言い方を確認する。 ・数を学習した時と言い方が違うものがあるので、はじめに4時、7時、9時以外の言い方を知る。次に4時、7時、9時の言い方を知る。 ・Tが「〇時半」を言い、Sが復唱する。 ・T「何時ですか」と質問した時の答え方を知り、模擬時計を使って会話をする。 ・「みえこさんのにほんご」P38のワークシートのような日常の動きと時計と一緒に描いてある絵を見る。 ・続いて「起きるのは何時ですか」と、時刻と動詞の関連を図る質問をする。 ・Tは動詞をやや強めに発音する。 ・時間があれば、動詞のみを復唱する。 例 <input type="checkbox"/> 起きる <input type="checkbox"/> 寝る <input type="checkbox"/> 行く <input type="checkbox"/> 帰る <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> 始まる <input type="checkbox"/> 終わる	20分	・Sが時計を読める段階の場合に指導する。 ○模擬時計(算数セット) ○時計の読み方ワークシート(「ぷりんときっず」→算数プリント幼児～小学1年生→時計の読み方練習) ○「みえこさんのにほんご」P35～37 ○動詞カード ○「みえこさんのにほんご」P38 ○「ちびむすドリル」幼児知育→文字・言葉・文カード→文の練習→文カード ・ここでは、動詞を聞くだけで、今後動詞のみを取り上げた学習をする。
本時の振り返り ・本時に学習した「同じ」、「違う」などを復習する。	3分	○本時で使用した絵カードやトランプなど

メモ